ＮＰまとめ

E議場

E01

Argentine Republic

論点１

生成AIの技術開発と倫理問題の対策を並行して行う

軍事用AIは倫理的な側面から、慎重に扱う必要がある

論点２

ICJ、ICCなどの国際司法機関にAI部門を設立し、開発者、提供者、利用者等の責任の所在を調査、議論する

生成AIの開発を推進する一方で、軍事AI開発については慎重な姿勢をとります。世界全体が、AIと健全にかかわっていけるような制度作りをしていきましょう！

E03　Austria

論点1 生成AI、軍事AIともにどこからが許されざるラインなのかを明確に示したガイドを作成し、公開する

論点2　誤作動の客観的な調査と分析を永世中立国が行う

暑い中ですが、今日のために集まってくだ さった皆さんと一緒にこの大会に参加でき、とても光栄です！

初心者で分からないことだらけですが、宜しくお願い致します！

E04

論点1

生成AI・軍事用AIともに国際的な規則の構築

論点2

生成AI・軍事用AIにおける運用条件の厳格化

議論を通し、各国の理解と協力を得られる制度の構築を目指します。

E05

Cambodia

・ASEAN加盟国として地域協力に積極的！

・AIの誤作動に対し明確な制度や責任規定は未整備

・ASEAN域内での倫理ガイドライン策定、
技術的自立の推進、中国依存の軽減が目標

・軍事用AIの導入は防衛目的に限定

E06

CANADA

☆軍事能力を行使できるAI兵器の使用には「意義ある人間の関与」が不可欠！

論点① <u>AIに対する規制</u>

軍事用AIの中でもLAWSに焦点を当て、将来的に国際社会に及ぼすリスクを軽減するためにAIの利用を監視・規制する国連機関を新設

論点② <u>AIの誤作動に対する責任の所在</u>

LAWSの使用において人的関与を義務化し、誤作動の際の責任の所在を明確化

E07

Republic of Chile

論点1

創作系の生成AIの利用には国際的に税を課し、LAWSは作成、使用を禁止する。半自立型などにも厳しい制限をかける。

論点2

基本的に、「利用者」に責任を帰属させる。
新たにAIに関する問題などを取り扱う
「国際民事裁判所」を設置

国際益を最優先した決議案を作ることができるよう、議題について深く考え、意義のある議論をしていきます。

有意義な二日間にしましょう

CHINA

論点1

中国主導で国連などと連携し、自律型兵器の使用状況を監視し報告する政策

論点2

事故情報を国際的に共有し、同じような事例の再発防止に活かす政策

AIと軍事という難しい内容ですが未来の安全保障を守るため協力し責任ある議論になるよう頑張りましょう

E09

Costa Rica

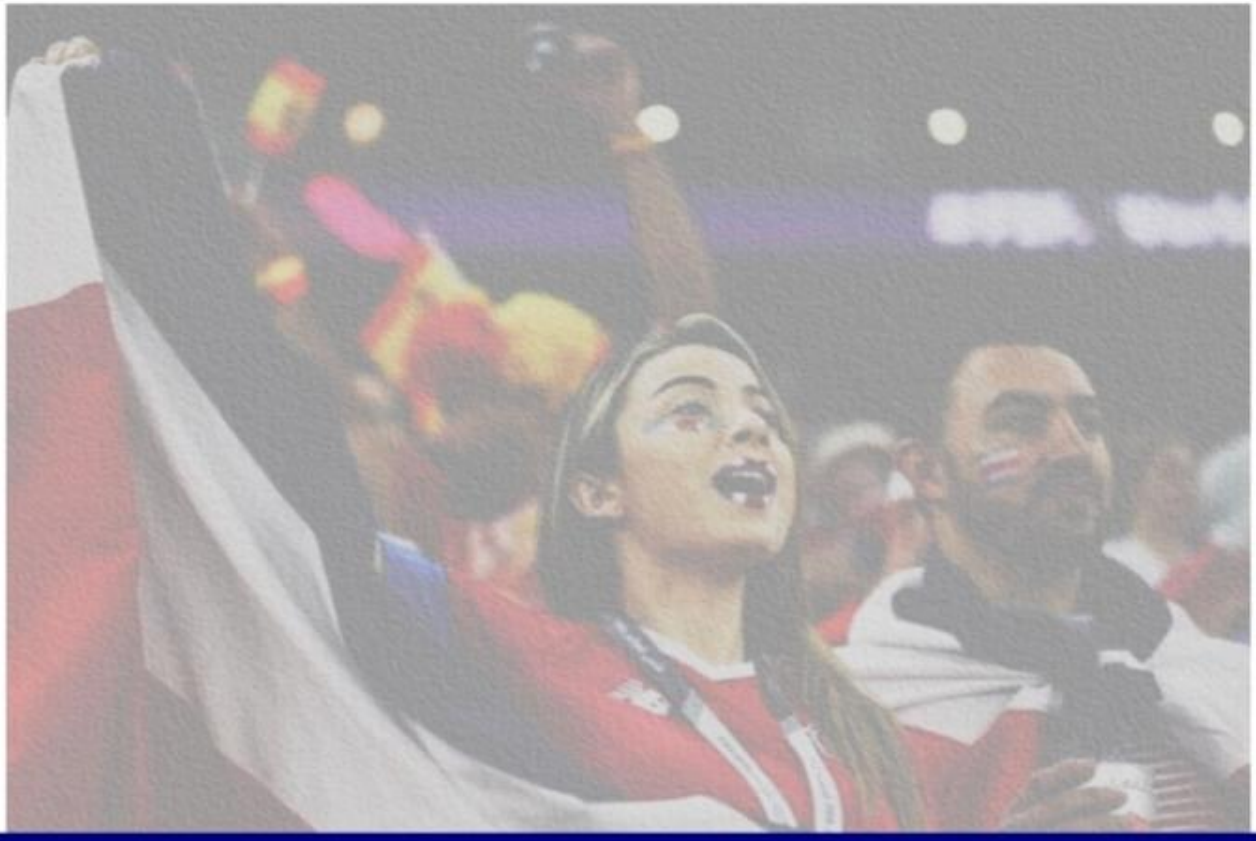
論点I

・AIによる軍事介入を法律で禁止し、他国にも使用しない‼

論点II

・AIが誤作動を起こした場合、国々が協力し情報を共有しあい解決したい。

そのために国連にAI被害防止のための協力機関を置くことを提案する。
またAI暴走を止めるための技術を開発したい。



E10

EGYPT

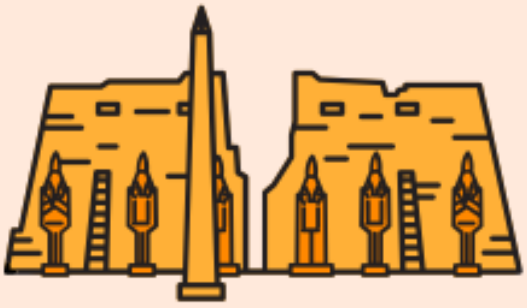
論点１

国際的な情報共有・中立的な調査体制落の
構築、法的責任の明確化、安全な設計の義務化
が重要であり迅速な対応と再発防止を図る

論点２

情報共有・国際調査・責任の明確化を進め
緊急対応や予防の体制を整える

**軍事用AIの規制において慎重な立場を取り、早期の
国際的な法的枠組みの必要性を強く認識しています
先進国と途上国の隔たりを超えて全ての国が
受け入れられる共通の指針づくりを進めていきましょう**



2日間がんばりましょう！

E11

エリトリア

途上国の主張：NO！AI攻撃による他国の主権と権利の略奪

AIは守るためにある。奪うために使うな。

他国に内政干渉をされたことのある身として、途上国と連携して以下のことを強化したい!!

・完全自律型兵器の禁止の規制強化
→民間人への考慮、停戦交渉をできるのは人間だけ。

・国際的な被害が起きた際の加害国の賠償・謝罪・再発防止の徹底の義務化
→AI技術の発展に貢献しているからといって甘い対応を取ってはならない。

E-12

Etiopia
エチオピア

論点1

LAWS全面禁止を目指す
国際合意を基盤とした厳格規制の確立

論点2

責任のありかを文書化で原則を明確にし、主要なAIシステムには説明可能なAIと監査証跡が適用されている

軍事AI（特にLAWS）には
否定的な立場です。
良い会議を創りましょう!
よろしくお願いします。

E 13

FIJI

論点

01

各国のAIの利用状況を監査、監視できる機関の設立

AIの使用に関するガイドラインの作成

02

AI開発者、及び先導した機関、国に責任を伴う

国際協定の樹立 (誤作動による危害が起きた場合)

方針

軍事用AIに対して肯定的な姿勢を取っていきます。

軍事用AIが国際社会にとって良い影響与えるように

世界共通の指標制作に努めましょう！

交流を盛んに行いながら学びを深め、
有意義な二日間にしましょう！！

E14

France

論点1

「AI法を世界中に広める」

どこの国でも企業が同様の
基準でAI開発や利用がしやすくなる

論点2

「責任の比率を分ける」

誤作動による争いをなくす
正しいAIの活用につながる

フランスは失業率が高い国で、AIにも職を奪われかねない状況です。世界全体で協力し、各国が抱えている問題解決のためにお力添えください。

E15

※提出されたPDFファイルを
そのまま掲載しています。

Germany

E16

INDIA

論点１

・多言語対応や、公平な利用を促進し安全性や透明性を確保する
・人間の最終判断を義務付ける

論点2

・共同責任をとらせ、新しく創設したAI被害に特化した国際的なAI責任調整機関で制裁を下す

インドはGPAI（AIの倫理的活用を進める国際協力組織）の一員として、誰もが公平に使えるAIの実現に取り組んでいます。
AIの可能性を活かしながらも、人間の判断や倫理を大切にする姿勢を国際社会でも大事にしています。

協力しあって楽しい二日間にしましょう！！

Indonesia

E17

論点1：緩めのリスク別規制をとる

論点2：共同責任をとる

軍事AIに対して多くの国が納得できる規制方法を作りたいです。
協力し合って正式な AI規制法を作りましょう

有意義な時間になるよう
頑張りましょう！

E19

STATE OF ISRAEL

人間の最終判断を国際基準とするべき

軍事AIの利用に国際的な共通ルールが必要

有意義な時間にしましょう!

E2O

Italy

論点1　国際AI軍事利用ガイドラインの策定

論点2　AI兵器の誤作動時における責任明確化と国際調査枠組みの創設

先進国も途上国も関係なくみんなで協力してより良い議論をしていきましょう！

段落テキスト

Japan

論点1

「AIはあくまで補助的役割で、最終意思決定は人間が行う」ということを、各国の憲法に明記する

論点2

緊急時のAIシステム停止手順を共有する「国際AI緊急対応協定」を締結する

E21

E22

KENYA

論点1

生成AIを教育現場へ投入し問題解決することを目標

論点2

誤作動に対し即座に対策を取ることができる専門組織設立

非倫理的なAI兵器に対して積極的に意見をあげさせていただきます！

2日間よろしくおねがいします！

E23

Lebanon

論点1:

発展途上国がAI技術に対して発言力・技術力を持てるようにすることが肝要であり、そのためにインフラの整備、規制の強化を主張する

論点2:

必要なものは誤作動の影響を未然に防ぐ法と、AI事故の迅速な報告・連絡・相談・意思決定と、被害者救済である

LAWS兵器で危険にさらされると思ったら集まれ!

模擬国連、最適案に向けてがンバろ!

E24

Libya

論点1

・生成 AI の「データフリーフロー」に基づいた国際的基準の規定

・完全自立型兵器（LAWS）の使用禁止

論点2

・AI 被害の責任に対応する国際機関の設置

→誤作動が確認された際の国際社会への報告の義務づけ

→AI 事故緊急対応マニュアルの上記国際機関内での制定

生成 AI に対しては寛容な姿勢を取りますが、

軍事用 AI に関して非常にセンシティブな姿勢を取ります。

立場が異なっても、世界の発展を願う心は同じです。

ぜひ2日間有意義な会議にしましょう！

E25

New Zealand

論点①

兵器利用を禁止し、権利侵害や情報漏えい防止の制度を設備

論点②

責任の在所を明確にする話し合いの場を設ける

旧政権の首相の画像を掲載するのは不適切とフロントで判断し、隠しました。

気軽に声をかけてください!!

2日間、よろしくおねがいします

E26

North Korea

論点①

国民と自国の防衛のために生成･軍事AIの情報を公開しない･規制する

論点②

迅速な解決を目指し、国家がAI民間企業への法的措置･責任追求を行い、また今後の対策に向け、他国と協力をする

2日間よろしくお願いします

E27

Norway

論点1

透明性・安全性・国際協調を貫く、
“責任あるAI”のための原則

論点2

万が一に備える、AI時代の
“責任と制御”のセーフティネット

生成AI、軍事用AIどちらについても
人権、透明性、倫理的視点を重要視する
姿勢です。
地域ごとのまとまりだけでなく
世界中で共通の認識を持てるように頑張
りましょう！！

E29

Panama

論点1

①AI指導のガイドライン作成

②LAWSの使用を禁止

↓ここパナマ

📍

論点2

①AIを所有(管理)している人や指導者に責任を課す

②再発防止の指導

２日間よろしくお願いします！

E31

Portugal

論点1

生成AIには国連機関主導のAIリスク分類ガイドライン作成、教育・公共領域におけるAI使用制限と研修義務化。
軍事用AIには意味ある人間の関与義務の国際法的明文化を確立させる。

論点2

1，司法・技術に関する国際機関を発足させる。
2，誤作動をおこした際の責任の所在をAI導入時に明確にし上記の機関に報告、事故が起こった際には、上記の機関の仲介で開発国・導入国・被害国の三者で裁判、対処を行う

ポルトガルでは「AI portugal 2030」という国家戦略を策定し、AIの人道的、責任ある活用を推進しています。
倫理的なAI利用のために規制を必要とする国の大使の方、声をかけてください

E32

Russian Federation

各国の事情をよく理解し、
どの国もおいていかない
決議案にしましょう！
2日間よろしくお願いします！

論点１

国際法の規制は最低限にして
国家主権を守り、
技術革新を進めよう！

論点２

国家ごとに規制を設け、責任の所在は国家に
委ねよう！
誤作動の根本の原因を明らかにする
仕組みを作ろう！

E33

Serbia

論点1

リスクの細分化とそれぞれの規制

AI作成の**ガイドライン**作成

論点2

使用者または誤作動を意図して起こした**主犯**が責任を負う

「責任あるAI」の開発を目指します！

楽しい2日間にしましょう！

E34

Slovakia

論点 1

すべての致死性兵器システムにおいて人間の関与を義務とし、完全自律型致死兵器システム(LAWS)の開発・使用を禁止する国際的な法的枠組みを設立する。

論点 2

AI 兵器が誤作動を起こした際の責任の所在を明確化するため、各国に AI の内部記録・監視機能の搭載を義務づける国際的な枠組みを設立する.

中道左派的アプローチのため、
AIの軍事利用において倫理性・透明性を
重視します。

E３５ SOUTH AFRICA

我々は、人間の尊厳を守るため、自律型致死兵器システム（LAWS）の包括的な禁止を求めます。

最低限、AI兵器の最終的な判断と責任は必ず人間が負うべきであり、「AIのせいだ」という責任逃れは認めません。

南アフリカは、アフリカ大陸が新たな兵器の実験場となることを断固拒否し、人道と倫理の防波堤となります。

E36

SOUTH KOREA

注意！！

多言語対応の促進：韓国語を含む非英語圏の言語資源の公平な提供

AI安全研究機関の設立と国際連携

誤作動報告制度：重大なAI誤作動を国際的に共有・報告する義務化。

AIの恩恵を公平に広げるために、いま国際的な連携が必要です。安全で多言語に対応した未来のため、ともに取り組みましょう！！

E37

issue1

「Swiss finish」を掲げて
EUとの互換性を確保していく政策

issue 2

責任の所在を明確化するための
AI誤作動における法的責任枠組みの整備

AIの技術開発に積極的な姿勢をとり、
軍事用AIについては、国際社会の情勢に
協調しながら、模索していきます

良い二日間にしましょう！

E38

SYRIA

論点 1

途上国に対する研究支援ないし技術の共有

論点 2

責任帰属先の明確化と裁き方

我々は AI に対して開いた姿勢を
取っていきます。
規制少なめ支援マシマシでお願いします。

E39

Tajikistan

論点1

LAWSの規制、生成AIに関する
権利とルールを！

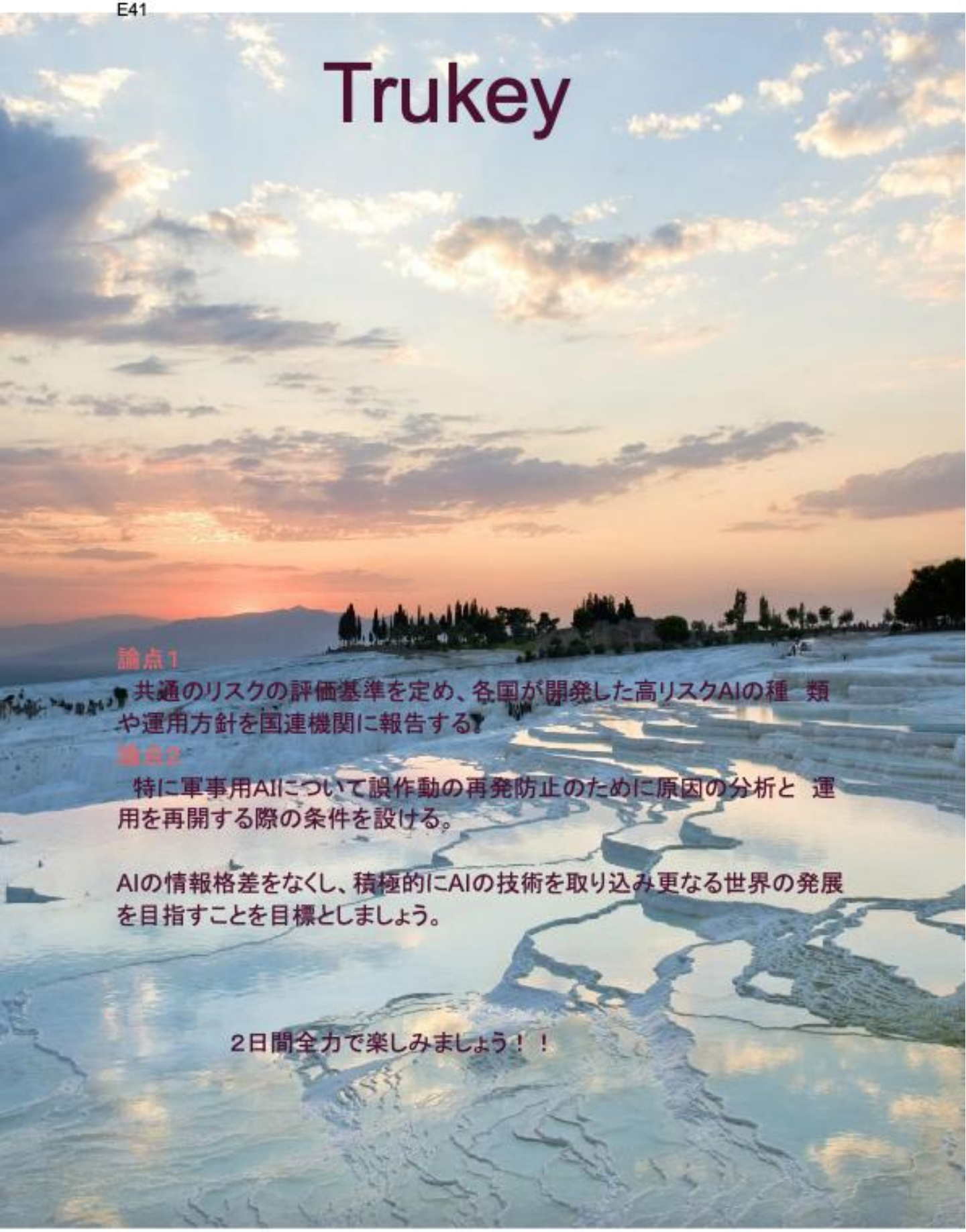
論点2

責任は国家に！

自国は生成AIについては慎重に扱いたいです。また軍事用AIについては導入を進める方針ではありますがどこまでのAI運用を許容するのか具体的な規制内容を話し合いたいです。

E41

Trukey



論点１

共通のリスクの評価基準を定め、各国が開発した高リスクAIの種　類や運用方針を国連機関に報告する。

論点２

特に軍事用AIについて誤作動の再発防止のために原因の分析と　運用を再開する際の条件を設ける。

AIの情報格差をなくし、積極的にAIの技術を取り込み更なる世界の発展を目指すことを目標としましょう。

２日間全力で楽しみましょう！！

E42 Ukline

Україна

Воля, злагода, добро

ウクライナの歩み

1991 年のソ連の崩壊に伴い建国。

その後中立国を宣言する。さらに核の放棄なども行う。

2014 年にロシアによるクリミア併合を受け、ドンバス戦争が始まる。

2021 年にロシア軍が特別軍事作戦という名目でロシアのウクライナ侵攻が始まる。

ウクライナ侵攻はいまだ続いておりロシア＝ウクライナ戦争と言われている。

国家について

ウクライナの政体は、司法・立法・行政の三権が分立する議会制民主主義（共和制）であり、大統領制と議院内閣制を並立した形の半大統領制を採用している。国家元首である大統領は、5 年任期で国民投票によって選出され、首相や政府の閣僚を任命する権限を持つが、議会の承認を要する。（Wikipedia の政治の項目より引用）

現在では戦時下のため戒厳令が発令されている

今会議における立場と展望

ウクライナの内政状況（特にロシアにおけるウクライナ侵攻）を考慮し、AI を用いた兵器の使用と AI の活用と責任の所在について戦争という状況で初めて本格使用され、使用したという立場がある。戦後の復興、現状の好転に向けた話し合いを他国や国際社会の利益を前提に話していきたい。

E44

UNITED KINGDOM

論点1

LAWSは国際社会において
使用条件を設けた規制をすべき

論点2

損害が発生した場合
国際共同補償の実現

本国は、AIの研究・規制に関する国際的な問題に
積極的に取り組んでいます。
発展国・途上国の枠組みを超え、
協力と支援をしていきたいと考えています。
お気軽に声をかけてください！

E45

UNITED STATEAS OF AMERICA

論点１

生成AI、軍事用AIは
1. 国際人道法の適用
２.透明性と報告義務
”意味のある人間の関与”の保証

論点２

誤作動による被害の責任は国家へ

２日間よろしくお願いします

Venezuela

論点 1

AI 技術のリスクレベルに応じて規制の強さを分ける制度の導入

論点 2

AI 誤作動への対応、事故調査、罰則判断などを行う独立機関の設置